

旧奈良監獄保存・活用事業

事業概要

公共施設等運営権（コンセッション）制度を活用して、重要文化財「旧奈良監獄」の保存・活用を行う事業

《事業内容》

- ① 文化財建造物の耐震改修、公開活用のための設備の整備
- ② 史料の整理、展示、案内等の史料館運営
- ③ 文化財の保存に支障がない範囲で、史料展示業務に直接利用しない部分（土地を含む。）を活用した付帯事業の提案が可能

《旧奈良監獄》

- ・明治政府が監獄の国際標準化を目指して計画した五大監獄（千葉、長崎、鹿児島、金沢、奈良）の一つで、唯一現存。
- ・歴史的価値が高く、意匠的にも優秀との評価（平成29年2月重要文化財指定）
- ・山下啓次郎（司法省営繕課長）設計



＜庁舎＞



＜表門＞



＜中央看守所＞



＜舎房＞

～ 文化財の保存と活用の調和を図った
国有文化財活用の画期的事業 ～



優先交渉権者

ソーレグループ



【耐震改修】

清水建設

日本診断設計

【史料館運営】

東急コミュニティー

小学館集英社プロダクション

【付帯事業】

ソーレ ホテルズ アンド リゾーツ

セイタロウデザイン

近畿日本ツーリスト

JAG国際エナジー

今後の予定

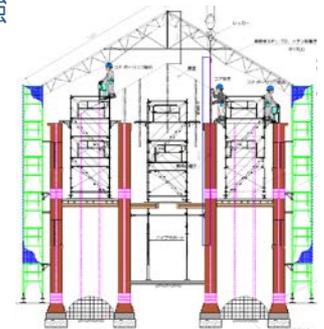
平成29年 8月 実施契約締結

平成31年10月 史料館運営開始

提案概要



- 1 史料の保存にとどまらず、広報価値の最大化を図る史料館運営
- 2 歴史的価値の保全と安心・安全を守る耐震補強



～ 建物景観を損なうことなく、十分な強度が得られる「鉄筋挿入工法」を基本 ～

- 3 「奈良公園観光地域活性化総合特区」における滞在型観光需要の創出に寄与
- 4 隣接する奈良市営「鴻ノ池運動公園」との連携